

## M&Aに人材支援強化 ウィルオブ社と提携

ブティックスは昨年11月、人材派遣や外国人就労支援等を手がけるウィルオブ・ワーク（東京都新宿区、告野崇社長）との業務提携を開始した。

M&Aの売り手・買い手で人材課題を抱える企業へ、ウィルオブ・ワークの人材サービスを紹介する。同様に、ウィルオブ・ワークの顧客でM&Aのニーズがある企業にはブティックスを紹介する。介護事業所の経営課題へ相互にアプローチするしくみだ。

M&A仲介業はブティックスの主要事業の一つ。介護業界に特化し、これまで7年間で623件の支援を行ってきた。今回の提携に伴い、12月15日に開催したオンライン

セミナーで同社常務取締役・速水健史氏は「競争激化と人材不足、さらに介護報酬の引下げ等により、2015年以降、介護業界は厳しい状況に突入している」と指摘。「大手・中堅企業は新設・買収で規模の利益をはかり、中小・零細は経営悪化し廃業・売却という二極化が進んでいる」とM&A急増の背景を説明した。

ウィルオブ・ワークは全国5000カ所以上の介護事業所・病院へ介護職員の派遣・紹介を展開。外国人の雇用支援サービスも手がける。人材定着支援の一環として、厚生労働省の職業性ストレス簡易調査票に独自項目を追加し、介護業界向けにアレンジした「ストレスチェックfor介護」も提供する。